

# 富谷小だより

渋谷区立

富谷小

学校通信

## 心に残る体験活動を

副校長 高橋 克典

6月12日に2年生と遠足に行きました。行先は葛西臨海公園です。出発するときには子供たちはうれしそうな顔をしてバスに乗り込みました。

やや渋滞はあったものの、無事に目的地に到着。葛西臨海水族園に向かいました。2年生たちは私にいろいろなことを話してくれました。「今日は深海魚を見てみたい。」「副校長先生、ペンギンはどこにいますか。」「どんな魚がいるのか楽しみです。」2年生たちは海のいきものクイズをもって、答えを探しました。探し始めるとなかなか大変で、「副校長先生、全然魚が見つかりません!」「いや必ずいるから、もう一度探しておいで。」とアドバイス。探し直して「見つかりました。」とにこにこ顔です。葛西臨海水族園と言えば、マグロの飼育が有名ですが、マグロの泳ぐ姿を見て子供たちは大喜びしていました。マグロが泳いでいる姿を見ることはなかなかできません。その笑顔を見て思いました。やはり、小学生には実際に見たり、聞いたり、触ったりする活動が必要だと。

さらに6月15日には学校巡回公演で東京交響楽団の演奏会が体育館で行われました。5、6年生が参加しました。交響楽団の方々は楽器の搬入、ステージの設置、リハーサルと忙しいスケジュールでした。

いざ演奏が始まると、その迫力に驚きました。一つ一つの楽器の音が調和した素晴らしい演奏でした。富谷小学校の体育館がNHKホールになったかのような錯覚を覚えました。5、6年生もじっと聴き惚れていました。本校の校歌を作曲した芥川也寸志さんのことにも説明がありました。

演奏の中で、指揮者体験があり、代表児童4名が交響楽団の指揮を行いました。「すごく緊張したけれど、楽団の人たちが私の方を見て演奏しているので驚きました。」と感想を発表していました。最後のアンコール曲「天空の城ラピュタ」は、一同、世界に引き込まれる演奏でした。

このように人は見たり、聞いたり、体験したりすることを通して様々なことを学習します。学校では様々な体験学習を行いたいと考えています。6年生の日光高原学園や5年生の那須自然体験教室、4年生の御殿場宿泊体験が大きなものですが、先日、3年生は社会科の学習で学区を見学しました。実際に自分の目で見る/体験するということは、学習を定着するために重要な要素の一つです。

小学校における体験活動には、「豊かな人間性」や「自ら学び、自ら考える力」といった、社会を生き抜くための基礎的な能力(生きる力・非認知能力)を大きく成長させます。その一部として、自己肯定感の向上やコミュニケーション能力の成長、協調性と責任感を育む、生きた知識への変換という点で有効です。教科書の知識だけでなく、体験することで「実感を伴った理解」につながります。

このような体験活動を通して、子供たちが仲間と協力することの大切さや、新しいことに挑戦する楽しさを実感できるよう、教職員一同全力でサポートしてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ふれあい月間の取組の紹介

6月は、ふれあい月間でした。ふれあい月間というのは、東京都教育委員会が定めている取組で、各学校において、児童・生徒アンケートや面談、いじめ防止に関わる授業、教職員研修などを行い、児童・生徒の悩みや不安にいち早く気付き、いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期対応をするための取組みを重点的に行う期間としています。

本校では、これらの取組に加えて全校児童から、「いじめをなくす強い心と人を思いやるやさしい心」の大切さを伝える標語を募集しました。集まった中から何点か紹介します。

○自分とみんな みんなちがうから おもしろい(5年生の作品)

○お礼をいわなければ あいても自分も いい気持ちにはならない(4年生の作品)

○こわいことがあったら おとなにおしえてね みんなで やさしくすごそうよ(2年生の作品)

集まった標語からは、一人一人が大切なことに気付いていることが伝わってきました。

これからも、ご家庭と連携しながら子供たちの健やかな成長のために尽力してまいります。